

学生と教員の見方



【アビールポイント】

現在は、家電量販店でアルバイトをしており、お客様のニーズに応えられるように心がけております。

む社会で新たな情報基盤として大きな意義を持つ。24年4月の公開以来、その利便性の高さから「神サイト」と呼ばれるほど注目を集めている。

に近い点が強みだが、戸建とマンションに限られ、町丁目単位でしか公開されないため、活用範囲に一定の制約がある。

オープンデータは利活用

【学生見方&考え方】

(4年 中野翔太)

所属するゼミでは、不動産の物件調査のオープンデータ活用について研究している。その中でも特に注目しているのが、国土交通省が運営する「不動産情報ライブラリ」というウェブサイトだ。

これまで、物件調査に必要な情報がほとんどそろっていることに驚かされた。

産情報ライブラリのデータ更新は四半期ごとのため、閲覧時の情報が最新とは限らない。特に価格や災害リスクのように、タイミングによって大きく変わる可能性のある情報は、もう少し

はより正確で信頼できる情報が早く手に入る社会になるはずだ。私は、これからオープンデータを活用し

APIが無償提供されている点も評価されており、学生が実際に操作し、その利便性を実感できたことは、実務教育として非常に有益である。

が進む一方で、更新頻度の遅れや情報の網羅性といった課題もある。こうした問題意識を出発点として、民間データとの連携やリアルタイム性を高める技術的手法の検討が求められる。今後不動産事業者へのヒアリ

「不動産情報ライブラリ」というウェブサイトを。この中でも特に注目しているのが、国土交通省が運営する「不動産情報ライブラリ」というウェブサイトを。この中でも特に注目しているのが、国土交通省が運営する「不動産情報ライブラリ」というウェブサイトを。

便利だと思ったのは、複数のサイトを行き来する必要がなく、調査資料をスムーズにまとめられる点だ。

私たち学生でも簡単に扱えるため、実務ではもっと役立つのではないかと感じた。

性のある情報は、もう少し

価格情報は、地価公示、都道府県地価調査、不動産取引価格情報、成約価格情報が含まれている。不動産取引価格情報は当事者アンケートをもとに、24年3月までは土地総合情報システムで提供されていたが、現在は同サイトに統合された。

成約価格情報はレインズマーケット・インフォメーション(RMI)の公開を多角的に探求していき

これまででは市区町村ごとにバラバラのホームページを探し回って集めていた用途地域やハザードマップなどの情報が、このサイトで一度にまとめて確認できる。実際に使ってみると、都市計画情報から地価公示、不動産取引価格、成約価格、周辺施設情報、防災情報など

私たちが学生でも簡単に扱えるため、実務ではもっと役立つのではないかと感じた。

細かく更新が行われれば、より安心して使えるのではないかと感じた。

【教員の展開】

「不動産情報ライブラリ」の活用は、これまで行政が分散していたが、現在は同サイトに統合された。

成約価格情報はレインズマーケット・インフォメーション(RMI)の公開を多角的に探求していき

これまででは市区町村ごとにバラバラのホームページを探し回って集めていた用途地域やハザードマップなどの情報が、このサイトで一度にまとめて確認できる。実際に使ってみると、都市計画情報から地価公示、不動産取引価格、成約価格、周辺施設情報、防災情報など

私たち学生でも簡単に扱えるため、実務ではもっと役立つのではないかと感じた。

細かく更新が行われれば、より安心して使えるのではないかと感じた。

【教員の展開】

「不動産情報ライブラリ」の活用は、これまで行政が分散していたが、現在は同サイトに統合された。

成約価格情報はレインズマーケット・インフォメーション(RMI)の公開を多角的に探求していき

これまででは市区町村ごとにバラバラのホームページを探し回って集めていた用途地域やハザードマップなどの情報が、このサイトで一度にまとめて確認できる。実際に使ってみると、都市計画情報から地価公示、不動産取引価格、成約価格、周辺施設情報、防災情報など

私たち学生でも簡単に扱えるため、実務ではもっと役立つのではないかと感じた。

細かく更新が行われれば、より安心して使えるのではないかと感じた。

【教員の展開】

「不動産情報ライブラリ」の活用は、これまで行政が分散していたが、現在は同サイトに統合された。

成約価格情報はレインズマーケット・インフォメーション(RMI)の公開を多角的に探求していき

これまででは市区町村ごとにバラバラのホームページを探し回って集めていた用途地域やハザードマップなどの情報が、このサイトで一度にまとめて確認できる。実際に使ってみると、都市計画情報から地価公示、不動産取引価格、成約価格、周辺施設情報、防災情報など

私たち学生でも簡単に扱えるため、実務ではもっと役立つのではないかと感じた。

細かく更新が行われれば、より安心して使えるのではないかと感じた。

【教員の展開】

「不動産情報ライブラリ」の活用は、これまで行政が分散していたが、現在は同サイトに統合された。

成約価格情報はレインズマーケット・インフォメーション(RMI)の公開を多角的に探求していき

これまででは市区町村ごとにバラバラのホームページを探し回って集めていた用途地域やハザードマップなどの情報が、このサイトで一度にまとめて確認できる。実際に使ってみると、都市計画情報から地価公示、不動産取引価格、成約価格、周辺施設情報、防災情報など

私たち学生でも簡単に扱えるため、実務ではもっと役立つのではないかと感じた。

細かく更新が行われれば、より安心して使えるのではないかと感じた。

【教員の展開】

「不動産情報ライブラリ」の活用は、これまで行政が分散していたが、現在は同サイトに統合された。

成約価格情報はレインズマーケット・インフォメーション(RMI)の公開を多角的に探求していき

これまででは市区町村ごとにバラバラのホームページを探し回って集めていた用途地域やハザードマップなどの情報が、このサイトで一度にまとめて確認できる。実際に使ってみると、都市計画情報から地価公示、不動産取引価格、成約価格、周辺施設情報、防災情報など

私たち学生でも簡単に扱えるため、実務ではもっと役立つのではないかと感じた。

細かく更新が行われれば、より安心して使えるのではないかと感じた。

【教員の展開】

「不動産情報ライブラリ」の活用は、これまで行政が分散していたが、現在は同サイトに統合された。

成約価格情報はレインズマーケット・インフォメーション(RMI)の公開を多角的に探求していき

これまででは市区町村ごとにバラバラのホームページを探し回って集めていた用途地域やハザードマップなどの情報が、このサイトで一度にまとめて確認できる。実際に使ってみると、都市計画情報から地価公示、不動産取引価格、成約価格、周辺施設情報、防災情報など

私たち学生でも簡単に扱えるため、実務ではもっと役立つのではないかと感じた。

細かく更新が行われれば、より安心して使えるのではないかと感じた。

【教員の展開】

「不動産情報ライブラリ」の活用は、これまで行政が分散していたが、現在は同サイトに統合された。

成約価格情報はレインズマーケット・インフォメーション(RMI)の公開を多角的に探求していき

これまででは市区町村ごとにバラバラのホームページを探し回って集めていた用途地域やハザードマップなどの情報が、このサイトで一度にまとめて確認できる。実際に使ってみると、都市計画情報から地価公示、不動産取引価格、成約価格、周辺施設情報、防災情報など

私たち学生でも簡単に扱えるため、実務ではもっと役立つのではないかと感じた。

細かく更新が行われれば、より安心して使えるのではないかと感じた。

【教員の展開】

「不動産情報ライブラリ」の活用は、これまで行政が分散していたが、現在は同サイトに統合された。

成約価格情報はレインズマーケット・インフォメーション(RMI)の公開を多角的に探求していき

これまででは市区町村ごとにバラバラのホームページを探し回って集めていた用途地域やハザードマップなどの情報が、このサイトで一度にまとめて確認できる。実際に使ってみると、都市計画情報から地価公示、不動産取引価格、成約価格、周辺施設情報、防災情報など

私たち学生でも簡単に扱えるため、実務ではもっと役立つのではないかと感じた。

細かく更新が行われれば、より安心して使えるのではないかと感じた。

【教員の展開】

「不動産情報ライブラリ」の活用は、これまで行政が分散していたが、現在は同サイトに統合された。

成約価格情報はレインズマーケット・インフォメーション(RMI)の公開を多角的に探求していき

不動産DX①

不動産調査の「新常識」へ

「不動産情報ライブラリ」の可能性

細かく更新が行われれば、より安心して使えるのではないかと感じた。

また、成約価格がREINS(レインズ)のデータをもとにしているため、信頼性が高い点も大きな強みだと考える。

一方で、実際に調べる中で課題も見えてきた。不動産

が上がり、買い手にとって

きる点で、デジタル化が進

データで、実際の市場価格

を多角的に探求していき

を多角的に探求していき